

## 第5章図形の性質と証明

### 1節三角形

#### 4直角三角形の合同の証明\_解答

1 右の図で、 $\angle AOP = \angle BOP$  となる点 P をとる。点 P から OX, OY に垂線を PA, PB をひくと、OA=OB であることを証明しなさい。

(仮定)  $\angle AOP = \angle BOP, \angle OAP = \angle OBP = 90^\circ$

(結論)  $OA = OB$

(証明)  $\triangle OAP$  と  $\triangle OPB$  において

仮定より  $\angle AOP = \angle BOP \cdots ①$

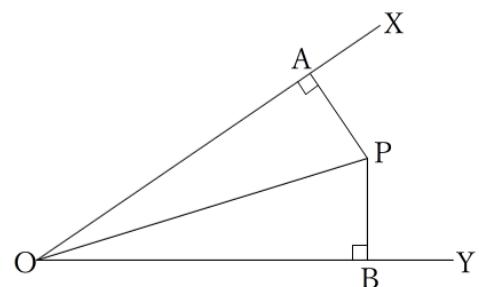
$\angle OAP = \angle OBP = 90^\circ \cdots ②$

共通な辺より  $OP = OP \cdots ③$

①, ②, ③より直角三角形の 斜辺と 1 つの鋭角 がそれぞれ等しいので、

$\triangle OAP \equiv \triangle OPB$

ゆえに、 $OA = OB$



2 右の図で、 $\angle XOY$  内の点 P から OX, OY にひいた垂線を PA, PB とする。このとき  $PA = PB$  ならば  $\angle AOP = \angle BOP$  であることを証明しなさい。

(仮定)  $\angle OAP = \angle OBP = 90^\circ, PA = PB$

(結論)  $\angle AOP = \angle BOP$

(証明)  $\triangle OAP$  と  $\triangle OPB$  において

仮定より  $\angle OAP = \angle OBP = 90^\circ \cdots ①$

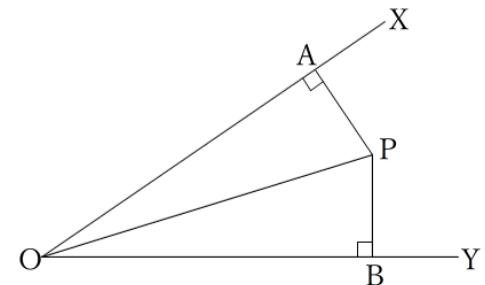
$PA = PB \cdots ②$

共通な辺より  $OP = OP \cdots ③$

①, ②, ③より直角三角形の 斜辺と他の 1 辺 がそれぞれ等しいので、

$\triangle OAP \equiv \triangle OPB$

ゆえに、 $\angle AOP = \angle BOP$



## 第5章図形の性質と証明

### 1節三角形

#### 4直角三角形の合同の証明\_解答

3右の図で、 $\triangle ABC$  は BC を底辺とする二等辺三角形である。BM=CM となる点 M を底辺 BC 上にとり、点 M から AB, AC にひいた垂線を MD, ME とする。このとき、DB=EC となることを証明しなさい。

(仮定)  $BM=CM, \angle BDM=\angle CEM=90^\circ$

(結論)  $DB=EC$

(証明)  $\triangle MBD$  と  $\triangle MCE$  において

仮定より  $BM=CM \cdots ①$

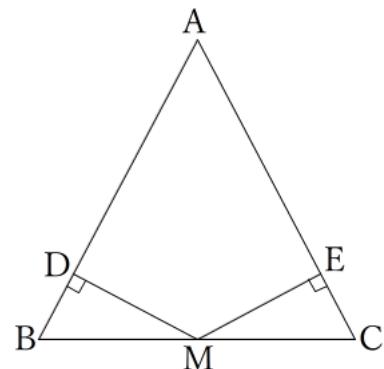
$\angle BDM=\angle CEM=90^\circ \cdots ②$

二等辺三角形の 底角 は等しいので  $\angle MBD=\angle MCE \cdots ③$

①, ②, ③より直角三角形の 斜辺と 1 つの鋭角 がそれぞれ等しいので、

$\triangle MBD \equiv \triangle MCE$

ゆえに、 $DB=EC$



4右の図で、 $\triangle ABC$  は  $AB=AC$  の二等辺三角形である。 $AB \perp CD$ ,  $AC \perp BE$  ならば  $AE=AD$  であることを証明しなさい。

(仮定)  $AB=AC, \angle AEB=\angle ADC=90^\circ$

(結論)  $AE=AD$

(証明)  $\triangle ABE$  と  $\triangle ACD$  において

仮定より  $AB=AC \cdots ①$

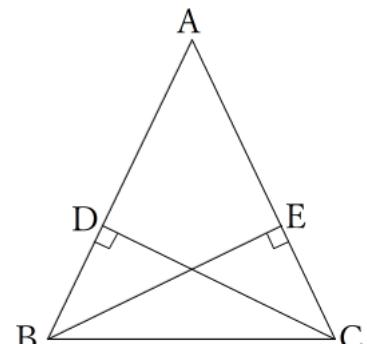
$\angle AEB=\angle ADC=90^\circ \cdots ②$

共通な角より  $\angle BAE=\angle CAD \cdots ③$

①, ②, ③より直角三角形の 斜辺と 1 つの鋭角 がそれぞれ等しいので、

$\triangle ABE \equiv \triangle ACD$

ゆえに、 $AE=AD$



## 第5章図形の性質と証明

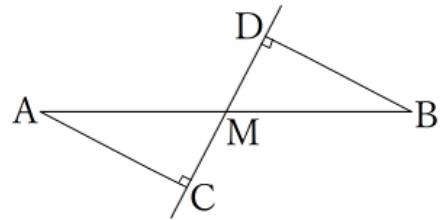
### 1節三角形

#### 4直角三角形の合同の証明\_解答

5右の図で、線分ABの中点をMとする。Mを通る直線にAC⊥CD, BD⊥CDとなるようにC, Dをとる。このとき、AC=BDであることを証明しなさい。

(仮定)  $AM=BM, \angle ACM=\angle BDM=90^\circ$

(結論)  $AC=BD$



(証明)  $\triangle ACM$  と  $\triangle BDM$ において

仮定より  $AM=BM \cdots ①$

$\angle ACM=\angle BDM=90^\circ \cdots ②$

対頂角は等しいので  $\angle AMC=\angle BMD \cdots ③$

①, ②, ③より直角三角形の 斜辺と1つの鋭角 がそれぞれ等しいので、

$\triangle ACM \equiv \triangle BDM$

ゆえに、 $AC=BD$

6右の図で、 $BD=CE, \angle BDC=\angle CEB=90^\circ$ となるように点D, EをAB, AC上にとる。このとき、 $\triangle ABC$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。

(仮定)  $BD=CE, \angle BDC=\angle CEB=90^\circ$

(結論)  $\triangle ABC$ は二等辺三角形

(証明)  $\triangle BDC$  と  $\triangle CEB$ において

仮定より  $BD=CE \cdots ①$

$\angle BDC=\angle CEB=90^\circ \cdots ②$

共通な辺より  $BC=CB \cdots ③$

①, ②, ③より直角三角形の 斜辺と他の1辺 がそれぞれ等しいので、

$\triangle BDC \equiv \triangle CEB$

ゆえに、 $\angle DBC=\angle ECB$

よって三角形の 2角 が等しいので $\triangle ABC$ は 二等辺三角形 である

